

事前申込不要

東北大学大学院工学研究科 次世代航空機研究センターからのお知らせ

TU Next Seminar in Applied Mechanics and Computational Engineering

日時:2019年10月31日(木), October 31st 2019, 16:00-17:00

場所:東北大学大学院工学研究科 機械・知能系2号館2階 203室 Room203 Research Building MENo2

講師:藤井孝藏 教授(東京理科大学、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 名誉教授)

演題:ものづくりと社会システム —「流れ」の制御で課題解決を目指す—

講演要旨: 現在、プラズマアクチュエータを中心とした流体制御に関する研究, 航空交通流のモデル化とシミュレーションに関する研究などが講演者の主な研究対象である。前者は、CFD、実験およびフライトによる実証試験が進行中、あわせて実利用に向けた企業との共同研究が進みつつある。後者はポスト京「富岳」の利用に向けた文科省プロジェクトで、国土交通省の協力により進めている世界に類のない研究である。

本講演では、30年以上にわたり研究室学生や共同研究者と行ってきた研究をCFDの歴史観から振り返り、その上で何故これらの研究をはじめたのかも含め最近行っている研究についてお話をさせていただく。これらを通じて、長い流体力学研究の経験から思うことをお伝えすることで、若い研究者、学生のみなさんの参考にしていただきたい。

藤井孝藏 教授(東京理科大学、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 名誉教授)
研究室ホームページ: <https://ftlab.ms.kagu.tus.ac.jp/home/>

東京大学大学院工学系研究科航空学専修 博士課程修了、NASAエイムス研究所NRC研究員、東京大学工学部航空学科助手、科学技術庁航空宇宙技術研究所空気力学第2部研究官 NASA エイムス研究所 NRC シニア研究員、JAXA 宇宙科学研究所 助教授・教授 などを経て 現職。

日本学術会議会員、日本航空宇宙学会フェロー、日本機械学会フェロー、日本流体力学会フェロー、アメリカ航空宇宙学会(AIAA)フェロー

「計算科学」分野の研究を推進しておられ、大きな視点での研究テーマは(1)人工物に関する流体力学数値解析とデータ分析、(2)多目的設計探査と設計情報探査、(3)社会問題への挑戦の3つを柱とし、産業界とも連携して社会に貢献する情報・計算工学の研究を進めています。